かしこく（知）　やさしく（徳）　なかよく（共）　たくましく、しなやかに（心・体）	
学校便り　鹿折小学校 令和６年２月１５日号 ☎２２－６８７６ 令和６.２.１現在　児童数１８４名	〈学校教育目標〉 志高く、自ら進んで考え、行動し、 しなやかに未来を生き抜く 児童の育成

皆さんからの思いを届けました。
能登半島地震の募金を社会福祉協議会へ

　能登半島地震の募金では、たくさんのご協力ありがとうございました。２月７日に集まった募金を JRC 委員会の児童が気仙沼市社会福祉協議会の方へ渡しました。
　社会福祉協議会の方からは、たくさん募金していただいたことへの感謝と被災した地域の方へ必ず届けること、有効に使わせていただくことを話されていました。
　能登半島の一日も早い復興を心より願っております。

おめでとうございます

◎第７７回　宮城県小中学校児童生徒書きぞめ展
　＜硬筆の部＞　　特選　６年　伊藤　七望　　金賞　１年　村上　心春
　＜毛筆の部＞　　金賞　５年　田村　徠登　　熊谷　優里

◎第６０回全国児童才能開発コンテスト　作文部門
　財団奨励賞　１年　菊地　咲南　　佳作賞　６年　齋藤　颯汰

◎第４２回児童画コンクール
　優秀賞　４年　熊谷　絢心

◎作文宮城県審査
　入選　１年　伊藤　悠衣

参加してみませんか？
鹿折地区手をつなぐ育成会講演会（３月１日）について

　先日、上記講演会の案内を再度配付いたしました。講演会の定員に達していませんので、たくさんの方の参加をお願いいたします。
　お便りで案内したとおり、今回お話いただく内容は、**子供たちのやる気、モチベーションにつながる**大切な内容になります。お子さんのやる気アップが毎日の元気につながります。
　なお、講師の畠山先生は、**気仙沼出身**の元教員です。現在、個別教室アップルの代表となり、**不登校や特別な支援が必要な児童生徒を含めた個別教室**を開いております。その点も含めた講話になるかと思いますので、興味のある方はぜひ、ご参加お待ちしております。
　※２２日（木）配付した用紙に記入いただくか学校に電話にて参加をお知らせ願います。

畠山先生の紹介等

海洋教育、ESD に関するアンケート結果について

２月に入り寒くなると思われましたが、今年は暖冬の影響で比較的穏やかな日が続いております。子供たちも、この寒さに負けずに、毎日元気に外で遊ぶ姿が見られうれしい限りです。

さて、先日の学校評価アンケートの中で海洋教育、ESD に関するアンケート結果がまとまりましたのでお知らせいたします。今年度は児童も回答しましたので、ご覧ください。

１ 気仙沼市が進めている海洋教育について、知っていますか。

	とても	まあまあ	あまり	全く
児童	47%	34%	13%	7%
保護者	31%	55%	14%	0%

２ 学校で取り組んでいる ESD の取組について知っていますか。

	とても	まあまあ	あまり	全く
児童	30%	35%	23%	13%
保護者	11%	49%	40%	0%

３ お子さんが学校で行っている地域の学習についてお子さんの取組を知っていますか。

	とても	まあまあ	あまり	全く
保護者	16%	63%	21%	1%

４ 海洋教育が学力向上や地域の理解につながっていると思いますか。

	とても	まあまあ	あまり	全く	分からない
児童	48%	40%	9%	2%	
保護者	22%	62%	8%	0%	8%

５ ESD の取組が学力向上や地域の理解につながっていると思いますか。

	とても	まあまあ	あまり	全く	分からない
児童	46%	40%	11%	3%	
保護者	21%	56%	11%	1%	11%

６ 身に付いてる海洋リテラシー（回答割合が高いもの）

児童	・気仙沼の海に触れ，実際に海を体験する ・海の生き物の生命がつながっていることを知る ・海は「食」を通じて私たちの生命を維持していることを知る
保護者	・気仙沼の海に触れ，実際に海を体験する ・海の生き物の生命がつながっていることを知る ・海は「食」を通じて私たちの生命を維持していることを知る

７ 身に付け（させ）たい海洋リテラシー（回答割合が高いもの）

児童	・気仙沼の海に触れ、実際に海を体験する ・海が生命を育んでいること、海と生命が直接的・間接的につながっていることを知る ・海は「食」を通じて私たちの生命を維持していることを知る
保護者	・気仙沼の海に触れ、実際に海を体験する ・海が生命を育んでいること、海と生命が直接的・間接的につながっていることを知る ・海が地域にもたらした災害と復興の歴史を知る

＜考察＞

・児童、保護者ともに、海洋教育の認知度は高いが、ESD はあまり高くはない結果でした。また、海洋教育、ESD どちらも学力向上や地域の理解につながっていると感じていることも分かりました。本校では、教育活動全体を通して ESD を推進しています。今年度の取組について、後日リーフレットを各家庭に配付し、理解していただく機会を設けます。

・海洋リテラシーについては、児童、保護者ともに、身に付いていると感じているものは同じでした。しかし、身に付けさせたいリテラシーについて、児童は、海で直接体験することや、生命のつながりといった科学的なものが多いのに対して、保護者が身に付けさせたいリテラシーは「災害と復興の歴史」が多い結果でした。東日本大震災の伝承という意味でも、災害と復興について、しっかりと学ぶ機会を設けていきたいと思います。

家庭生活習慣向上のため，鹿３運動に取り組みましょう！

①鹿「あいさつ」運動（学校，家庭，地域であいさつ）

②鹿「ナイン・シックス」運動（9時就寝，6時起床）

③鹿「メディア１時間」運動（ゲーム，スマホ，タブレット，インターネットは１時間以内に）